



令和6年5月2日

渋谷区立松濤中学校 学校だより

世界へ松濤中生 Grow(自律) Respect(尊重) Create(創造)

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/shotoj>



「自立」と「自律」

校長 中村 哲也

本校の教育目標である「自律」「尊重」「創造」は、平成22年4月1日に定められてから昨年度まで「自立」「尊重」「創造」でした。今年度から、「自立」を「自律」に変更しました。同じ発音で意味の異なる字を同音異義語といたしますが、「自立」と「自律」は、何が違うのでしょうか。

国語辞典(三省堂「新明解」)でそれぞれの意味を調べてみると、次のように書かれています。

「自立」…①親からの経済的援助などを受けず、社会人として自分一人の力で生計を立てること。②他に依存することなく、自分自身の判断に基づいて責任を持った行動をとること。

「自律」…自分で決めた規則に従い、わがままを抑えること。

「自立」の意味から考えると、「独立」と言い換えることができます。一方で、「自律」は言い換えると「自治」とか「自主性」になるのでしょうか。

もう少し深く考えていきます。「自律」は他者との関係性の中で、わがままを抑え、自分で決めたルールで自分自身をコントロールあるいはマネジメントすることです。中学生であるみなさんは、乗車券や入場料など、時には大人としてみなされ、大人と同様の判断や行動が求められることがあります。また、学校や社会で、他者とうまく関わっていくためには、

自分自身の言動を自分でコントロールすることが必要です。自分の考えをもち主張することも大切ですが、同時に、周りの人のことも考え、調整することも大切です。自分の思いを主張するときには、相手がどう思うか、どのように受け取るかを考えて、相手の人が嫌な思いになったり、誤解したりしないよう、言葉遣いなど伝え方を工夫する必要があります。このような力が「自律」で、学校や社会で他者と関わる際に必要な力といえます。

今年、教育目標から取り下げてはいますが、「自立」も同様に大切な力です。中学生のみなさんは、自分自身で解決できないような困難に出会ったとき、まだまだ親や先生の力を頼ることが必要です。しかし、日常生活の中で、自分でできることを家族の方や他の人に頼っていることはないでしょうか。将来の「独立」に向けて、掃除や身の回りの片付けなど、まずは自分の力でやってみることから始めてみましょう。それが「自立」への第一歩です。

教育目標

人権尊重の精神を基盤にした教育理念の基に、国際社会に主体的に対応することのできる、心身ともに健康で知性と感性に富んだ、人間性豊かな生徒の育成を目指し、次の目標を定める。

「世界へ松濤中生」

(Achieve a role in the global community.)

- 自律 (Grow)
- 尊重 (Respect)
- 創造 (Create)